

“母子と助産師の碑”

村松志保子助産師顕彰会は、全国唯一、産婆・
乳母の祖神を祀る神社であります高忍日賣神社の
境内に、2012年5月26日“母子と助産師の碑”
を建立させていただきました。

(建立時 会長 南野知恵子)



“母子と助産師の碑” (高忍日賣神社境内)



“母子と助産師の碑” 表全文

私たち、助産師は、
出産や子ども虐待、大災害等で失われた母子の生命
に対して、深い哀悼の意を表します。

また、母子とそのご家族や女性のリプロヘルス/
ライツ (性と生殖に関する健康と権利) の支援活動
を生涯実践した先輩助産師の遺功を偲び、ここに、
敬意と感謝の意を捧げます。

世界中の全ての母子と家族に幸福が、また世界に
平和が到来することを、心から願っています。

私たちは、毎年3月8日を「母子と助産師の日」と定め、この地に集い、祈りを捧げたいと願っています。

本レリーフ像は、造形美術家野口晴朗氏が、母子と温かく見守る助産師の姿をデザインしたものです。

高忍日賣神社は、古より助産師の神様の高忍日賣大神さまをお祀りする全国唯一の神社です。私たちにとって縁深き御社に、この碑を建立させていただけることは、至上の慶びを覚えます。

お導きいただいた高忍日賣大神さまとご理解を賜りました後藤正宜宮司さま、愛媛県助産師会をはじめ、関係者の皆様に深い感謝の意を表します。

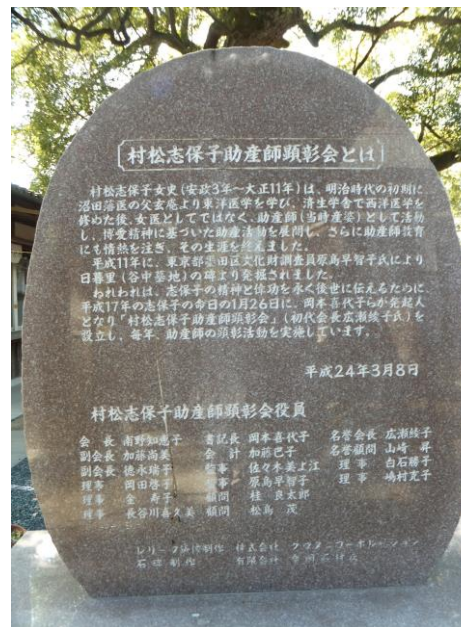
平成24年 5月吉日 村松志保子助産師顕彰会
役員・会員一同



母子と助産師の碑
レリーフ
造形美術家
野口晴朗氏作

“安産福運大祭”

毎年3月8日14時、高忍日賣神社
にて“安産福運大祭”がとり行
われます。



“母子と助産師の碑” 裏全文

村松志保子助産師顕彰会とは

村松志保子女史 (安政3年～大正11年) は、明治時代の初期に、沼田藩医の父玄庵より東洋医学を学び、済生学舎で西洋医学を修めた後、女医としてではなく、助産師 (当時産婆) として活動し、博愛精神に基づいた助産活動を展開し、さらに助産師教育にも情熱を注ぎ、その生涯を終えました。

平成11年に、東京都墨田区文化財調査員原島早智子氏により日暮里 (谷中墓地) の碑より発掘されました。

われわれは、志保子の精神と遺功を永く後世に伝えるために、平成17年の志保子の命日の1月26日に、岡本喜代子らが発起人となり、「村松志保子助産師顕彰会」 (初代会長広瀬綾子氏) を設立し、毎年、助産師の顕彰活動を実施しています。

平成24年 3月 8日